

養蚕用語の基礎知識

蟻蚕 ぎさん	ふ化したばかりの1齢幼虫は、体にくらべて毛が長いので黒っぽい色をしています。そのため、毛蚕(けご)と言ったり、アリのように見えるので蟻蚕と言ったりします。
掃立 はきたて	ふ化した蚕を蚕座(さんざ)に移し飼育を始めることです。羽ぼうきで蟻蚕を掃き下ろしたため掃立と言います。
蚕座 さんざ	蚕を飼育するための場所のことです。
眠 みん	桑を食べず脱皮の準備をしている状態。「休む」とも言われています。
起蚕 きさん	眠が終わり脱皮をした蚕のことです。
桑付け くわづけ	眠が終わって初めて桑を与えることです。
人工飼料 じんこうしりょう	桑葉粉末、糖分、ビタミンなどを配合し、羊羹状にしたエサ。汚れた手などで触ると、カビが出てしまいます。
熟蚕 じゅくさん	糸を吐く準備が出来た蚕のことです。体がすきとおってあめ色になります。
上族 じょうぞく	熟蚕になった蚕を繭を作らせるための道具である回転族に移すことです。
営繭 えいけん	回転族に移された蚕が糸を吐き繭を作ることです。
収繭 しゅうけん	まゆかき。族から繭を掻き取ることで、毛羽取り作業を含めていう場合もある。
毛羽取り けばとり	繭の周りにある足場用の糸を取り除くことです。
上繭 じょうけん	汚れ、穴あきなどがなく製糸原料として使うことが出来る繭。
選除繭 せんじょけん	外側や内側に汚れがある繭、薄い繭、2頭が一緒に作った繭、穴あき繭など、製糸原料に不向きなもの。 中繭(ちゅうまゆ)とも言います。

養蚕用語の基礎知識

箱 はこ	蚕の飼育量を表す単位。 群馬県では1箱3万頭で、約50kgの繭がとれます。
給餌 きゅうじ	餌(えさ)を与えること、特に人工飼料を与える時に用いる。
給桑 きゅうそう	蚕幼虫の飼育すなわち養蚕で桑を与えること。
蚕種 さんしゅ	「さんたね」ともいう。蚕の卵を意味する産業用語。
除沙 じよさ	蚕座の食べ残した桑や蚕糞を取り除くこと。
拡座 かくざ	蚕の発育に伴って蚕座を広げること。
選繭 せんけん	異常繭、不良繭を取り除くこと。
玉繭 たままゆ	2頭(以上)の蚕が共同で作った繭で、玉糸、つむぎ糸、真綿の原料になる。
セリシン せりしん	繭糸を構成するタンパク質で、フィブロインを被覆し、繭糸相互を接着する。
フィブロイン ふいぶろいん	フィブロインは絹繊維の主成分で熱水に不溶で、耐薬品性に優れた硬タンパク質である。
孵化 ふか	卵から幼い個体(蟻蚕)が脱出すること。
蛹化 ようか	化蛹。幼虫が蛹に変態すること。蚕が上蔭後4,5日目におこる。
吐糸 とし	絹糸腺で合成蓄積していた絹蛋白質を主として営繭のために吐糸口から吐き出すこと。
配蚕 はいさん	稚蚕共同飼育が終わり、個々の農家にその蚕を配ること。